

歴史的事実としてのイエスの復活

マルコの福音書 15:40～16:20

きょうのお話の要点

「最も古い福音書」と言われるマルコ伝にはイエスの復活が記されていない、と言われます。ゆえに、イエスの復活は後代の創作だということです。しかし、この説はまだ歴史が浅く、検証が十分とは言えません。新約聖書の一致した主張は、イエスの死が私たちの身代わりであった、ということ、そしてイエスは確かによみがえられた、ということです。実はキリストの復活は、この二千年間、いまだに完全に否定されたことはないのです。

I. イエスの最後の一週間の記述に割かれた節数の割合

福音書	全節数	最後の週の節数	割合
マタイ	1069	389	36%
マルコ	661	253	38%
ルカ	1149	286	25%
ヨハネ	879	332	38%



II. 十字架と復活のメッセージ

1. 最も信じにくいメッセージ

十字架：忌まわしいイメージ

復活：弟子たちも信じていなかった(キリストから聞いていたにもかかわらず)

2. 最も信じたくないメッセージ

ユダヤ人の会堂(シナゴグ)からの追放
ローマ帝国による迫害



A) 盗難説

弟子 / ユダヤ人 / ローマ帝国

B) 気絶(仮死)説

百人隊長、死亡確認

C) 幻覚説

40日にわたって幻覚?

D) その他

犬が地面を掘り返して骨まで食べた

III. 歴史家が共通して認めていること

1. イエスが十字架で死に、葬られたこと
2. イエスの墓は空であり、イエスの死体がここにある、と示せた人は一人もいなかった
3. イエスの弟子たちは全員が、よみがえったイエスを見た、と証言した
4. 弟子たちは迫害や殉教をも恐れず、よみがえったと彼らが信じるイエスを宣べ伝えた

IV. マルコ16章からわかること

1. 弟子たちは自分たちが見つかることを恐れていたため墓に行かなかった(主の遺体も引き取らなかったほど恐怖の中にいた)
2. 女たちは、キリストの復活をまったく予期していなかった
3. 墓は空っぽだった
4. 第一報をもたらしたのは女性であった(法廷で証人の資格がない)
5. 弟子たちはよみがえったキリストを見、さわ(ルカ24章)、会話をし(4福音書)、食事をともにした(ルカ24章)

墓にはローマ皇帝の封印(それを破るものは死罪) 四人の番兵はなぜか罰せられず、多額の口止め料がユダヤ人から与えられた(マタイ 28章)

V. 「使徒の働き」(使徒行伝)からわかること

1. ユダヤ人議会(イエスの処刑を決定)も、ローマ帝国も弟子たちの伝えるキリストの復活を否定できなかった。
2. 第1世紀の資料(ユダヤ人側、ローマ帝国側)には、キリストの復活はなかった、という文献がひとつもない。

VI. 神の約束か、悪い冗談か

ヨハネ 11:25.26 イエスは彼女に言われた。「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者はみな、永遠に決して死ぬことはありません。あなたは、このことを信じますか。」

ある事実を事実として認めることが不利であるような立場にある人びとが、①事実として認めるか ②暗黙の前提としているばあい、③あるいは積極的に否定していないばあい、われわれはその事実を疑いえない事実として考えてもよい。

弓削達「ローマ帝国とキリスト教」 p.290

ローマ 10:9,10,13 なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。・・・「主の御名を呼び求める者はみな救われる」のです。

福音メッセージ 歴史的事実としてのイエスの復活

マルコの福音書 15章40節～16章20節 【新改訳2017】

- 40 女たちも遠くから見ていたが、その中には、マグダラのマリアと、小ヤコブとヨセの母マリアと、サロメがいた。
- 41 イエスがガリラヤにおられたときに、イエスに従って仕えていた人たちであった。このほかに、イエスと一緒にエルサレムに上って来た女たちがたくさんいた。
- 42 さて、すでに夕方になっていた。その日は備え日、すなわち安息日の前日であったので、
- 43 アリマタヤ出身のヨセフは、勇気を出してピラトのところに行き、イエスのからだの下げ渡しを願い出た。ヨセフは有力な議員で、自らも神の国を待ち望んでいた。
- 44 ピラトは、イエスがもう死んだのかと驚いた。そして百人隊長を呼び、イエスがすでに死んだのかどうか尋ねた。
- 45 百人隊長に確認すると、ピラトはイエスの遺体をヨセフに下げ渡した。
- 46 ヨセフは亜麻布を買い、イエスを降ろして亜麻布で包み、岩を掘って造った墓に納めた。そして、墓の入り口には石を転がしておいた。
- 47 マグダラのマリアとヨセの母マリアは、イエスがどこに納められるか、よく見ていた。

16章

- 1 さて、安息日が終わったので、マグダラのマリアとヤコブの母マリアとサロメは、イエスに油を塗りに行こうと思い、香料を買った。
- 2 そして、週の初めの日の早朝、日が昇ったころ、墓に行った。
- 3 彼女たちは、「だれが墓の入り口から石を転がしてくれるのでしょうか」と話し合っていた。
- 4 ところが、目を上げると、その石が転がしてあるのが見えた。石は非常に大きかった。
- 5 墓の中に入ると、真っ白な衣をまとった青年が、右側に座っているのが見えたので、彼女たちは非常に驚いた。
- 6 青年は言った。「驚くことはありません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。ご覧なさい。ここがあの方の納められていた場所です。」
- 7 さあ行って、弟子たちとペテロに伝えなさい。『イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。前に言われたとおりに、そこでお会いできます』と。」
- 8 彼女たちは墓を出て、そこから逃げ去った。震え上がり、気も動転していたからである。そしてだれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。〔彼女たちは、命じられたすべてのことを、ペテロとその仲間たちに短く伝えた。その後、イエスご自身が彼らを通して、きよく朽ちることのない永遠の救いの宣言を、日の昇るところから日の沈むところまで送られた。アーメン。〕
- 9 〔さて、週の初めの日の朝早く、よみがえったイエスは、最初にマグダラのマリアにご自分を現された。彼女は、かつて七つの悪霊をイエスに追い出してもらった人である。〕
- 10 マリアは、イエスと一緒にいた人たちが嘆き悲しんで泣いているところに行き、そのことを知らせた。
- 11 彼らは、イエスが生きていて彼女にご自分を現された、と聞いても信じなかった。
- 12 それから、彼らのうちの二人が徒歩で田舎に向かっていたとき、イエスは別の姿でご自分を現された。
- 13 その二人も、ほかの人たちのところへ行って知らせたが、彼らはその話も信じなかった。
- 14 その後イエスは、十一人が食卓に着いているところに現れ、彼らの不信仰と頑なな心をお責めになった。よみがえられたイエスを見た人たちの言うことを、彼らが信じなかったからである。
- 15 それから、イエスは彼らに言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。」
- 16 信じてバプテスマを受ける者は救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。
- 17 信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、わたしの名によって悪霊を追い出し、新しいことばで語り、
- 18 その手で蛇をつかみ、たとえ毒を飲んでも決して害を受けず、病人に手を置けば癒やされます。」
- 19 主イエスは彼らに語った後、天に上げられ、神の右の座に着かれた。
- 20 弟子たちは出て行って、いたるところで福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばを、それに伴うしるしをもって、確かなものとされた。〕